

1年 道徳通信

〇〇〇立〇〇〇中学校
1年 〇組担任 〇〇〇〇

◎「今日の道徳授業」の紹介

教材名 26「花に寄せて」

ねらい： 絶望からはい上がって絵を描き続ける主人公の生き方に共感し、困難や障がい乗り越え、人間としての誇りを持って、よりよく生きていこうとする態度を育てます。

■教材の内容について

作者が重い障がいには負けることなく、乗り越え、力強く生きていこうとする姿が描かれています。生徒の生活からは離れますが、実話であり生徒の心を捉える感動教材です。新任教師として中学校に赴任し2か月、器械体操の指導中に事故を起こし、肩から下の自由がなくなった作者。多くの人に支えられ、絶望感から立ち上がり、詩画を描くことに喜びを見だし、毎日を精いっぱい生き抜いている作者の姿はたいへん感動的です。苦しみつつも、周囲への感謝を胸に、生きる喜びを見だししていきます。そんな作者の姿から、心から満足できるよりよい人生を送るためには、夢や希望を持ち、困難や苦勞を乗り越え、粘り強く努力を続けることが大切であるということに気付きます。

■生徒の実態について

中学1年生の時期は心身のバランスが不安定で、ささいなことで軽率な行動をすることもあります。所属する集団も増え、人間関係の幅も広がり、人間関係の在り方や生き方に自信が持てずに一人悩む生徒も増えてきます。その反面、人間が内に弱さや醜さを持つと同時に、強さや気高さを持っていると理解できるようになります。生き方へ関心が高まり、考えも深まるこの時期に、困難を乗り越え、希望を持ってよりよく生きることのすばらしさや生きる勇気を深く自覚することは大切なことです。

■ご家庭へ

人間として生きることへの喜びや人間の行為の美しさに気付いたとき、人間は強く、また、気高い存在になることができます。中学生になると、しだいに自我に目覚め、人生について思索し始めます。人間が持つ強さや気高さのすばらしさを認める一方、現実の自分に自信が持てず、劣等感にさいなまれている生徒もいます。ご家庭においては、弱さを克服したり困難を乗り越えたりして気高く生きた先人について話し合い、お子さんがこれからの人生をよりよく生きようとする自覚と自信を持つことができるように励ましていただきたいと思います。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・キリトリセン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

◇ご意見やご感想、家庭でお子さんと話題にしたことなどぜひお寄せください。()